

診療の一部再開のおしらせ

本年4月16日に新型コロナウイルスPCR陽性者が出て以来その後の検査で消化器内科・外科、泌尿器科の患者さんと担当の看護師等に院内感染が広がっていた事が判明しました。

皆様には多くの御心配をおかけしました事を改めてお詫び申し上げます。

その後の院内検査で医師2名に陽性が出ましたが、それ以外の診療科には広がっておらず、外来、放射線など共用部分の職員の検査も終わりました。感染患者さんは当院の隔離病棟ないし専門病院で治療を受けています。感染職員も保健所の指導のもと各所で療養を行っており退院者も出てきております。

4月17日より外来診療と新規入院を全面的に中止いたしておりました。この間手術、抗がん剤などの治療の必要な方は極力他のがん拠点病院などに協力をお願いしてまいりました。しかしながら、当院での治療や検査が必要な患者さんも多く5月11日から再来をできるだけ数を絞った上で再開いたすこととなりました。全員サーモグラフィーで発熱チェックを行い、密にならないように待合を考えるなど感染予防に一層努力いたします。

また入院も5月18日から再開いたしますが、これに際しては当院でのPCRで陰性が確認され、肺CTで肺炎を否定された患者さんのみ入院いたします。

御心配をおかけしました事を改めてお詫びしますが、院内感染予防に一層の努力をしてまいりますので何卒ご理解のほどよろしく願いいたします。

令和2年5月1日 北海道がんセンター院長 加藤秀則